

<学校名> 深谷市立深谷小学校

<所在地> 深谷市仲町19-1

<電話> 048-571-0329

<本事例の特徴>

本校は、担任がALT、EAT、外国語専科教員と連携を図り、外国語・外国語活動・英語活動の学習を行っている。ALTの出身国について紹介する授業の実施や、授業以外にも積極的に児童と触れ合うことを通して、外国語への興味・関心をもたせている。

<具体的な取組や成果>

1 具体的な取組

(1) ○ALTによるフィリピンの文化や食べ物の紹介

- ・1年生の英語活動の授業の中で、ALTがフィリピンの文化や食べ物などの紹介を行った。スライドの写真を見せながら、フィリピンの場所を確認したり、代表的な料理や盛んなスポーツを英語で説明したりした。児童は、フィリピンと日本の文化の違いを比べながら、興味をもって聞いていた。フィリピンの伝統舞踊であるティニクリンを教えてもらい、実際に踊って文化に慣れ親しんだ。

○児童の感想より（一部）

- ・日本のお札は人がかいてあるけど、フィリピンのお札はふくろうがかいてあってびっくりした。
- ・日本と違う食べ物や動物がたくさんいることがわかった。
- ・ティニクリンを踊れて楽しかった。またやってみたい。

(2) ○外国語の授業外でのALTと児童の交流

- ・本校のALTは、児童と触れ合う時間を大切にしている。給食を一緒に食べたり、休み時間に外遊びをしたりして過ごすことで、ALTや英語との距離感も縮まっている。クラブ活動の時間には、屋内スポーツクラブの児童と一緒にバトミントンやドッジボールなどの活動を行った。

2 成果

- ・外国の食べ物や文化について理解し、共に体験する中で、外国に対する関心を高め、異文化を理解しようとする姿勢が見られた。
- ・1学期学校評価の「外国語（英語）の勉強がわかる」という肯定的回答が100%を達成している。これからも、外国語・外国語活動・英語活動の授業やALTと児童の交流などを通して英語に親しませながら、多文化共生の理解を図っていく。